

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-507320 (P2001-507320A)

【公表日】平成 13 年 6 月 5 日 (2001.6.5)

【出願番号】特願 平 11-522019

【国際特許分類】

B 6 5 B 7/16 (2006.01)

B 6 5 B 51/10 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 7/16 C

B 6 5 B 51/10 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 19 日 (2005.8.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書



平成17年8月19日

特許庁長官殿



1. 事件の表示

平成11年特許願第522019号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名 称 テトラ ラバル ホールディングス エ ファイナンス ソシエテ
アノニム

3. 代 理 人

居 所 〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目2番1号

新 大 手 町 ビ ル デ ィ ン グ 3 3 1

電 話 (3 2 1 1) 3 6 5 1 (代 表)

氏 名 (6 6 6 9) 浅 村 皓



4. 補正により減少する請求項の数 33

5. 補正対象書類名

明 細 書

請求の範囲

6. 補正対象項目名

明 細 書

請求の範囲

7. 補正の内容 別紙の通り



(1) 発明の名称を次のとおり訂正する。

『山形頂部の容器のシール方法』

(2) 請求の範囲を別紙のとおり訂正する。

請 求 の 範 囲

1. 開放端部を有する容器の周壁構造と、山形パネルおよび複数の折りしろを有して該容器の開放端部を閉止する閉止部分とを形成するためのシート材料を準備する段階と、

複数の折りしろが重ね合せられ且つ山形パネルが折りしろと周壁構造との間に位置する閉止状態に前記閉止部分を形成する段階と、

実質的に真直線状の第1部分と、実質的に真直線状で、前記第1部分から隔てられて該第1部分と実質的に平行な第2部分とを有する所定の第1面積部分において複数の折りしろの間をシールする第1シール段階と、

前記第1シール段階の後に、前記第1部分と第2部分との間にあって該第1部分と第2部分とのそれぞれに実質的に平行で実質的に真直線状の部分を含む所定の第2面積部分において複数の折りしろの間をシールする第2シール段階とを含む容器の形成方法。

2. 請求項1に記載された容器の形成方法であって、前記第2シール段階が、超音波シール技術を使用して気密シールする段階を含んでいる容器の形成方法。

3. 請求項1に記載された容器の形成方法であって、前記第1シール段階が非気密シールする段階を含み、前記第2シール段階が気密シールする段階を含んでいる容器の形成方法。

4. 開放端部を有する容器の周壁構造と、山形パネルおよび複数の折りしろを有して該容器の開放端部を閉止する閉止部分とを形成するためのシート材料を準備する段階と、

複数の折りしろが重ね合せられ且つ山形パネルが折りしろと周壁構造との間に位置する閉止状態に前記閉止部分を形成する段階と、

超音波シール技術を使用して第1温度および第1エネルギーレベルで生じた第1シーリングパターンを使用して複数の折りしろの間をシールする段階と、

前記シール段階の後に、超音波シール技術を使用して第2温度および第2エネルギーレベルで生じた第2シーリングパターンを使用して複数の折りしろの間をシールする段階とを含み、

a) 前記第1温度が前記第2温度と異なること、及びb) 前記第1エネルギー

レベルが前記第2エネルギーレベルと異なること、のうちの少なくとも一方の条件を満たすようにする、容器の形成方法。